自然にやさしい。
DAIE

小型合併処理装置
処理対象人員：5～50人

ダイエー浄化槽

大栄産業株式会社

コンパクト型窒素除去付

低炭素社会対応型（省エネ型）
全浄協登録浄化槽

ダイエーFCE5.7.10型 固液分離型流量調整付担体流動循環方式

特長

業界No.1 消費電力 28W

エコマーク認定浄化槽

①省エネ

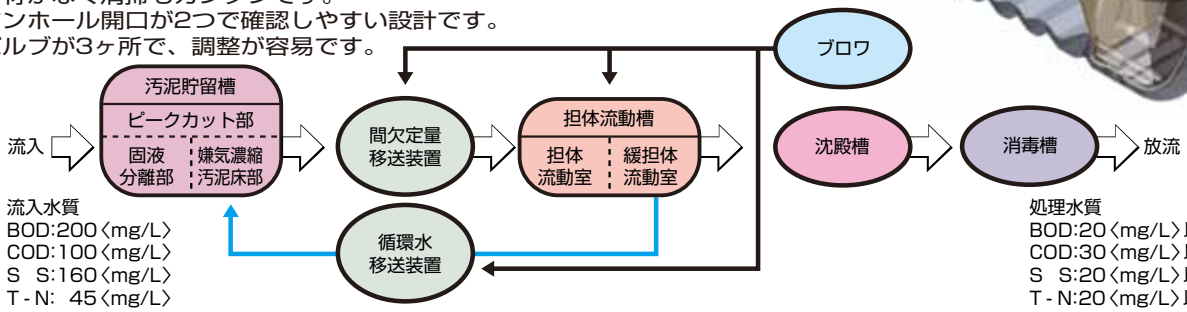
・2室に分割した hybrid 構造 の二次処理と移送装置の低風量化により、ブロワ風量を大幅に低減。ダイアフラムの耐久性が向上し、ブロワの寿命が長くなりました。消費電力は環境省の省エネ基準の54%を実現しました。電気代を算出すると、年間約4,500 円もお得になります。
これからの省エネ時代に適した浄化槽です。（5人槽の場合）

② eco 施工支柱レス認定品

・放流管底を270（300）mm にしました。※（　）寸法はマンホール含む。
・従来比約 85%の省スペースになったことから、残土処分量が少なくなりました。
・臭い〈臭気〉の発生し難い処理方式（2階タンク方式を流入部に設置）を採用。
・マンホールが少ない為、上部スラブ打設時の嵩上げ調整が容易です。
・全機種が全高1550mm。
・空気配管が1本になりました。
・軽量化5人槽が140kgに軽量化。

③維持管理の向上

・一次処理は固液分離部のみでシンプル構造。
・ろ材がなく清掃もカンタンです。
・マンホール開口が2つで確認しやすい設計です。
・バルブが3ヶ所で、調整が容易です。



流入水質
BOD:200〈mg/L〉
COD:100〈mg/L〉
S　S:160〈mg/L〉
T-N:　45〈mg/L〉

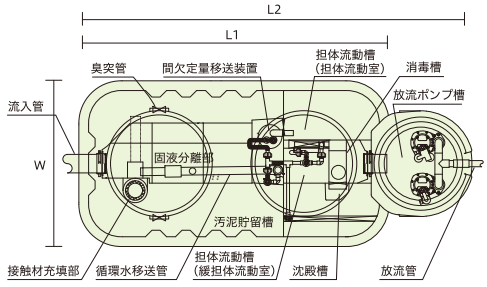
処理水質
BOD:20〈mg/L〉以下
COD:30〈mg/L〉以下
S　S:20〈mg/L〉以下
T-N:20〈mg/L〉以下

放流水質

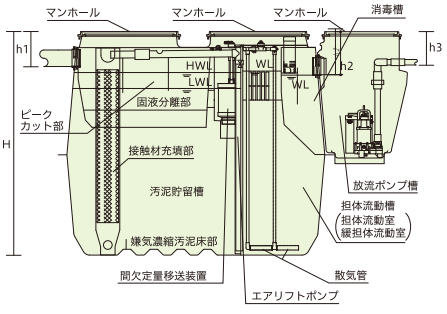
項目	(財)日本建築センター 性能評価値	国土交通大臣 認定値	全浄協登録値
BOD	20 mg／ℓ	20 mg／ℓ	20 mg／ℓ
T-N	20 mg／ℓ	20 mg／ℓ	20 mg／ℓ
SS	20 mg／ℓ	20 mg／ℓ	—
COD	30 mg／ℓ	30 mg／ℓ	—

名　称	認定番号	認定年月日	型式適合認定番号	認定年月日
ダイエーFCE5	5-14-H-001	平成26年1月10日	型01CadOc0054286	平成25年8月9日
ダイエーFCE7	5-14-H-001-1		型01CadOc0074287	
ダイエーFCE10	5-14-H-002		型01CadOa0104288	

■平面図（放流ポンプ槽付き）



■断面図（放流ポンプ槽付き）



■各部寸法表（mm）

名称・記号 ＼ 人槽	5	7	10
外槽材質	PP		FRP
全巾(W)	1,020	1,320	1,320
全長(L 1)	1,900	1,920	2,520
全長(L 2)	2,410	2,430	3,130
全高(H)	※1 1,520(1,550)		
流入管底(h1)	※1 220(250)		
放流管底(h2)	※1 270(300)		
放流管底(h3)	※1 200(230)		
流入・放流管径	φ100		

■各槽容量表（㎥）　本体重量（kg）

汚泥貯留槽	1.071	1.468	2.005
ピークカット部	0.098	0.124	0.171
担体流動槽	0.389	0.569	0.761
沈殿槽	0.145	0.196	0.275
消毒槽	0.021		
総容量　※2	1.626	2.254	3.062
本体重量（参考）※3	140	160	200
定価（円）	630,000	830,000	1,250,000

■仕　様

送風機	型式	AP-50	AP-60	AP-80
	消費電力(W)	28	35	51
	風量(L／分)	50	60	80
マンホール	開口部φ600	2		

※1：（　）内はマンホール上端からの距離
※2：ピークカット部を除いた容量
※3：本体重量は担体・マンホールを含んだ総重量を示します。
●送風機の型式はメーカーによって異なります。
●寸法等は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

＊認定書、型式適合認定書、型式適合認定シート、施工要領書、維持管理要領書はホームページからの取得も可能です。

窒素除去型

ダイエーFCX12C～30C型 分離嫌気ろ床担体流動方式

環境にやさしく！

・窒素除去能力（放流水質 T-N20㎎/L）を追加しました！
・ブロワの消費電力を従来比最大66%の削減！※1、2
・年間CO_2排出量を従来比369kg 削減！※1、2

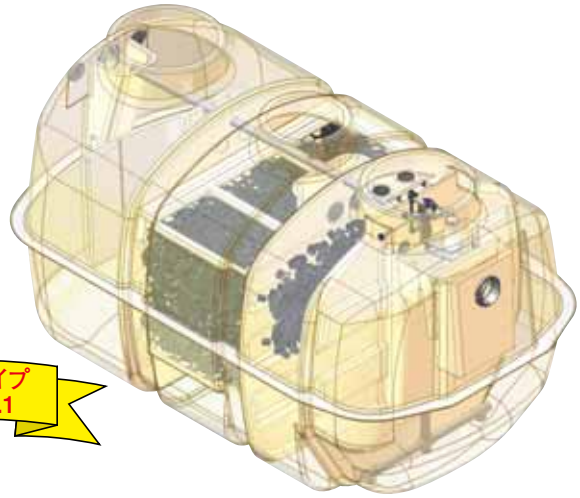
※1　12～14人槽の場合。CO_2排出量は電気事業連合会発表
2008年度電力会社12社平均0.373kg-CO_2/kWh を参考
※2　当社製品 FCP-14CⅡと比較

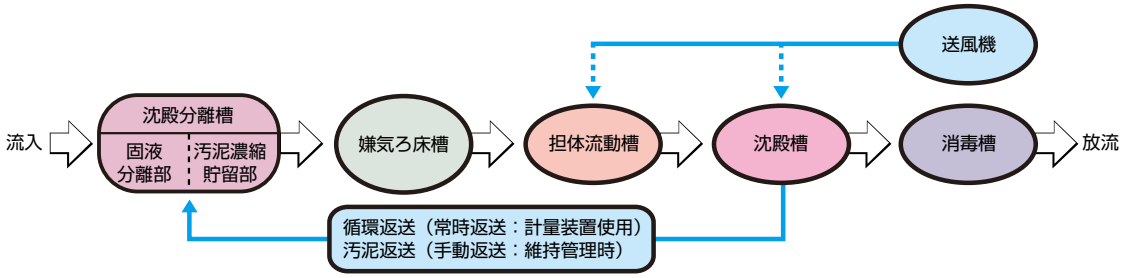
施工期間の減少！

・掘削工事を従来比最大79%に削減！※2
・エアー配管は１系統のシンプル設計！

簡単な維持管理！

・バルブはたった2つのシンプル設計！



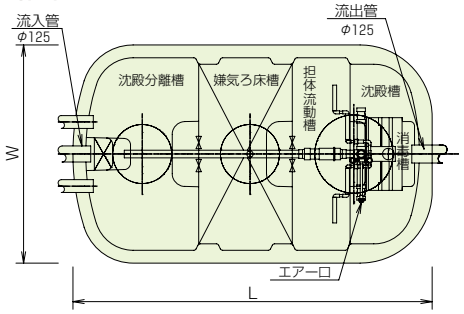


放流水質

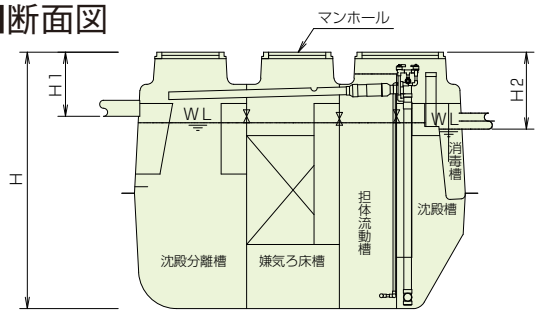
項目	日本建築センター 性能評価値	国土交通大臣 認定値
BOD	20 ㎎／ℓ	20 ㎎／ℓ
COD	30 ㎎／ℓ	30 ㎎／ℓ
SS	20 ㎎／ℓ	20 ㎎／ℓ
T－N	20 ㎎／ℓ	20 ㎎／ℓ

名　称	認定番号	認定年月日	型式適合認定番号	認定年月日
ダイエー FCX12C	5-13K-H-002	平成25年10月１日	型01CadOa0123743	平成21年8月７日
ダイエー FCX14C	5-13K-H-002-1		型01CadOa0143744	
ダイエー FCX15C	5-13K-H-002-2		型01CadOa0153745	
ダイエー FCX16C	5-13K-H-002-3		型01CadOa0163746	
ダイエー FCX18C	5-13K-H-002-4		型01CadOa0183747	
ダイエー FCX20C	5-13K-H-002-5		型01CadOa0203748	
ダイエー FCX21C	5-13K-H-002-6		型01CadOa0213749	
ダイエー FCX25C	5-13K-H-002-7		型01CadOa0253750	
ダイエー FCX28C	5-13K-H-002-8		型01CadOa0283751	
ダイエー FCX30C	5-13K-H-002-9		型01CadOa0303752	

■平面図



■断面図



■各部寸法表(㎜)

名称・記号 ＼ 人槽	12	14	15	16	18	20	21	25	28	30
全　巾(W)	1,700					2,000		2,200		
全　長(L)	2,800		3,470			3,370		3,600	4,210	
全　高(H)	1,980									
流入管底(H1)	480									
放流管底(H2)	580									

■各槽容量表(㎥)　本体重量(kg)

沈殿分離槽	1.635		2.113			2.452		2.938	3.500	
嫌気ろ床槽	1.519		1.956			2.279		2,720	3.253	
担体流動槽	0.936		1.207			1.403		1.683	2.019	
沈　殿　槽	0.729		0.923			1.063		1.265	1.502	
消　毒　槽	0.044		0.044			0.059		0.059	0.078	
総　容　量	4.863		6.243			7.256		8.665	10.352	
本体重量(kg)	510	510	600	600	610	680	690	860	980	1,000
定価(円)	1,710,000	1,950,000	2,070,000	2,200,000	2,380,000	2,700,000	2,950,000	3,500,000	3,920,000	4,200,000

■仕　様

送風機	型式(標準設定)	AP80	LP100H(S)	LP120H(S)	LP150HN
	入力(kw)	0.051／0.051	0.105／0.105	0.13／0.13	0.132／0.145
	風量(L／分)	80	100	120	150
	口径(A)	13			20
マンホール	開口部φ450	2	1		
	開口部φ600	1	2		

●放流先が浅い場合はオプションで放流ポンプ槽をご利用いただけます。
●表中の全高、流入・放流管底は FRP（BMC 製）マンホールの場合です。鋳鉄製の場合は20㎜ 深くなります。
●表中の重量は参考重量です。出荷後の天候などにより重量が増える場合があります。
●寸法は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

＊認定書、型式適合認定書、型式適合認定シート、施工要領書、維持管理要領書はホームページからの取得も可能です。

窒素除去型

ダイエーFCX33C～50C型 分離嫌気ろ床担体流動方式

環境にやさしく！

- 窒素除去能力（放流水質 T-N20mg/L）を追加しました！
- ブロワの消費電力を従来比最大40%の削減！※1、2
- 電気料金 78,840 円／年の削減※1、2
- 年間CO_2排出量を従来比 1,470kg 削減！※1、2

※1　50人槽の場合。CO_2排出量は電気事業連合会発表
2008年度電力会社12社平均0.373kg-CO_2/kWh を参考

※2　当社製品 FCP-50TⅡ(60Hz)と比較

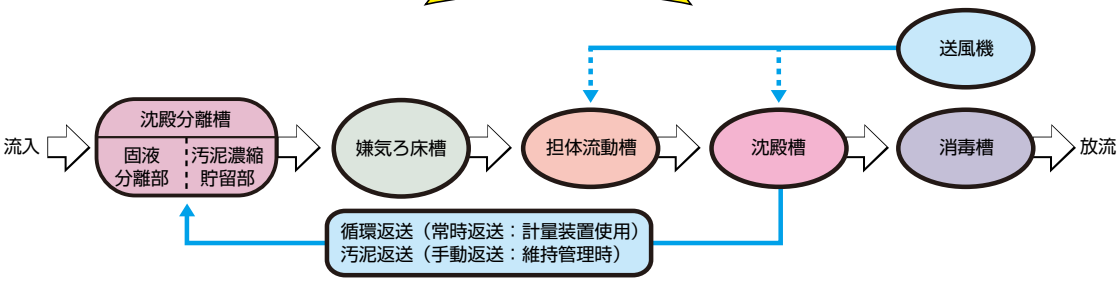
施工期間の減少！

- 掘削工事を削減！
- エアー配管は１系統のシンプル設計！

簡単な維持管理！

- バルブはたった2つのシンプル設計！

省エネタイプ
業界No.1

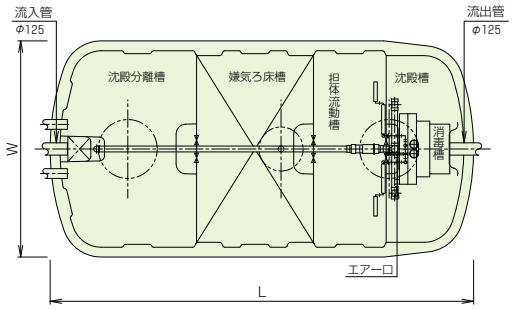


放流水質

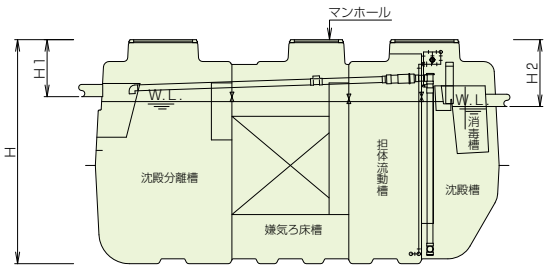
項目	日本建築センター 性能評価値	国土交通大臣 認定値
BOD	20 mg／ℓ	20 mg／ℓ
COD	30 mg／ℓ	30 mg／ℓ
SS	20 mg／ℓ	20 mg／ℓ
T−N	20 mg／ℓ	20 mg／ℓ

名　称	認定番号	認定年月日	型式適合認定番号	認定年月日
ダイエー FCX33C	5-13K-H-002-10	平成25年10月１日	型01CadOa0333753	平成21年8月７日
ダイエー FCX35C	5-13K-H-002-11		型01CadOa0353754	
ダイエー FCX38C	5-13K-H-002-12		型01CadOa0383755	
ダイエー FCX40C	5-13K-H-002-13		型01CadOa0403756	
ダイエー FCX42C	5-13K-H-002-14		型01CadOa0423757	
ダイエー FCX45C	5-13K-H-002-15		型01CadOa0453758	
ダイエー FCX48C	5-13K-H-002-16		型01CadOa0483759	
ダイエー FCX50C	5-13K-H-002-17		型01CadOa0503760	

■平面図



■断面図



■各部寸法表(㎜)

名称・記号 ＼ 人槽	33	35	38	40	42	45	48	50
全　巾(W)	2,200				2,400			
全　長(L)	4,310		4,850		4,510		4,950	
全　高(H)	2,280				2,480			
流入管底(H1)	580							
流出管底(H2)	680							

■各槽容量表(㎥)　本体重量(kg)

沈殿分離槽	4.095		4.669		5.259		5.849	
嫌気ろ床槽	3.798		4.340		4.876		5.427	
担体流動槽	2.362		2.681		3.028		3.343	
沈　殿　槽	1.774		2.006		2.260		2.512	
消　毒　槽	0.078		0.115		0.115		0.115	
総　容　量	12.107		13.811		15.538		17.246	
本体重量(kg)	1,230	1,240	1,360	1,370	1,530	1,540	1,660	1,670
定価(円) 自然放流	4,960,000	5,170,000	5,450,000	5,720,000	6,160,000	6,430,000	6,860,000	7,150,000
定価(円) 放流ポンプ槽付き	5,258,000	5,468,000	5,748,000	6,018,000	6,458,000	6,728,000	7,158,000	7,448,000

■仕　様

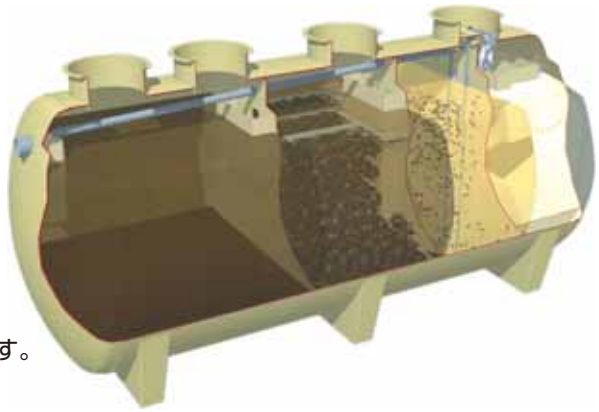
送風機	型式(標準設定)	LP200HN	LW250
	入力(kw)	0.200／0.215	0.285／0.300
	風量(L／分)	200	250
	口径(A)	20	
マンホール	開口部φ450	1	
	開口部φ600	2	

●放流先が浅い場合はオプションで放流ポンプ槽をご利用いただけます。
●表中の全高、流入・放流管底は FRP（BMC 製）マンホールの場合です。鋳鉄製の場合は20㎜ 深くなります。
●表中の重量は参考重量です。出荷後の天候などにより重量が増える場合があります。
●寸法は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

＊認定書、型式適合認定書、型式適合認定シート、施工要領書、維持管理要領書はホームページからの取得も可能です。

窒素除去型

ダイエーFCX33T～50T型 分離嫌気ろ床担体流動方式



環境にやさしく！

- 窒素除去能力（放流水質 T-N20㎎/L）を追加しました！
- ブロワの消費電力を従来比最大48%の削減！※１
- 年間 CO_2 排出量を従来比1290kg削減！※１

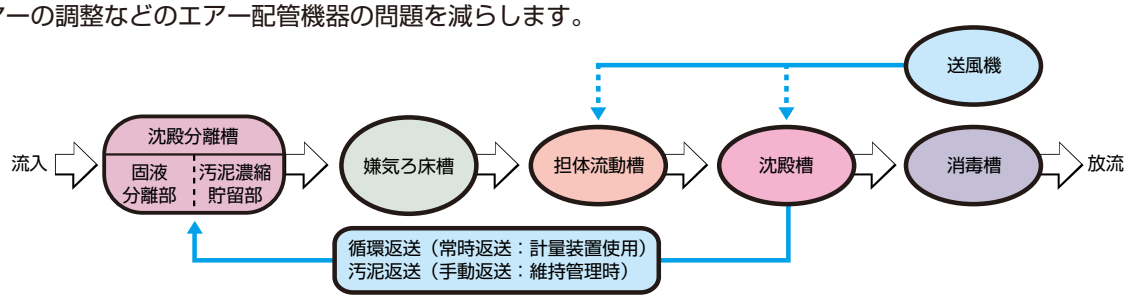
※１　45～50人槽の場合。CO_2 排出量は電気事業連合会発表
2007年度電力会社12社平均0.453kg-CO_2/kWh を参考

施工期間の減少！

- 流出管底を従来比60㎜浅く設計！（槽内落差100㎜）
  自然放流への対応を拡大して放流ポンプ設置の追加施工を減らします！
- エアー配管は１系統のシンプル設計！配管資材と工数を減らします。
- 電磁式ブロワを採用！基礎に置くだけ！設置の手間を減らします。

簡単な維持管理！

- 沈殿槽を採用したシンプル設計！閉塞などに対応する手間を減らします。
- 送気は散気のみのシンプル設計！複雑なエアー配管が原因となる問題や切替弁の故障、タイマーの調整などのエアー配管機器の問題を減らします。

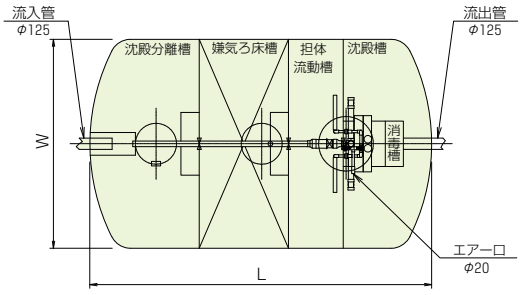


放流水質

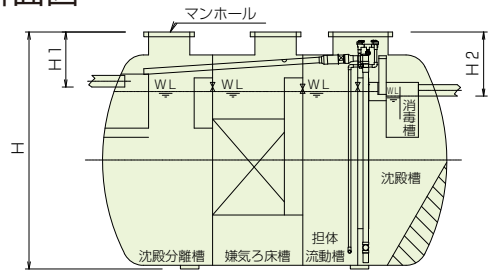
項目	日本建築センター 性能評価値	国土交通大臣 認定値
BOD	20 ㎎／ℓ	20 ㎎／ℓ
COD	30 ㎎／ℓ	30 ㎎／ℓ
SS	20 ㎎／ℓ	20 ㎎／ℓ
T－N	20 ㎎／ℓ	20 ㎎／ℓ

名　称	認定番号	認定年月日	型式適合認定番号	認定年月日
ダイエー FCX33T	5-13K-H-003	平成25年10月１日	型01CadOa0333761	平成21年8月７日
ダイエー FCX35T	5-13K-H-003-1		型01CadOa0353762	
ダイエー FCX38T	5-13K-H-003-2		型01CadOa0383763	
ダイエー FCX40T	5-13K-H-003-3		型01CadOa0403764	
ダイエー FCX42T	5-13K-H-003-4		型01CadOa0423765	
ダイエー FCX45T	5-13K-H-003-5		型01CadOa0453766	
ダイエー FCX48T	5-13K-H-003-6		型01CadOa0483767	
ダイエー FCX50T	5-13K-H-003-7		型01CadOa0503768	

■平面図



■断面図



■各部寸法表（㎜）

名称・記号 ＼ 人槽	33	35	38	40	42	45	48	50
全　　巾(W)	φ2,300							
全　　長(L)	3,750	3,920	4,220	4,380	4,530	4,760	5,010	5,160
全　　高(H)	2,590							
流入管底(H1)	600							
放流管底(H2)	700							

■各槽容量表（㎥）　本体重量（kg）

	33	35	38	40	42	45	48	50
沈殿分離槽	3.859	4.116	4.446	4.703	4.924	5.254	5.621	5.841
嫌気ろ床槽	3.597	3.818	4.148	4.368	4.552	4.882	5.213	5.433
担体流動槽	2.202	2.349	2.570	2.680	2.827	3.010	3.230	3.340
沈　殿　槽	2.482	2.482	2.652	2.652	2.652	2.652	2.652	2.652
消　毒　槽	0.078	0.078	0.115	0.115	0.115	0.115	0.115	0.115
総　容　量	12.218	12.843	13.931	14.518	15.070	15.913	16.831	17.381
本体重量(kg)	1,060	1,090	1,140	1,170	1,220	1,270	1,320	1,350
定価(円)	4,960,000	5,170,000	5,450,000	5,720,000	6,160,000	6,430,000	6,860,000	7,150,000

■仕　　様

送風機	型式(標準設定)	LP200HN	LW250	
	入力（kw）	0.200／0.215	0.285／0.30	
	風量(L／分)	200	250	
	口径（A）	20		
マンホール	開口部φ450	2	1	3
	開口部φ600	1	2	1

●放流先が浅い場合はオプションで放流ポンプ槽をご利用いただけます。
●表中の全高、流入・放流管底は鋳鉄製マンホール（６t 耐圧）仕様の場合です。FRP（BMC 製）の場合は20㎜ 浅くなります。
●表中の重量は参考重量です。出荷後の天候などにより重量が増える場合があります。
●寸法は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

＊認定書、型式適合認定書、型式適合認定シート、施工要領書、維持管理要領書はホームページからの取得も可能です。

低炭素社会対応型（省エネ型）
全浄協登録浄化槽

ダイエーFCKⅢ5,7,10型 嫌気濾床接触ばっ気方式

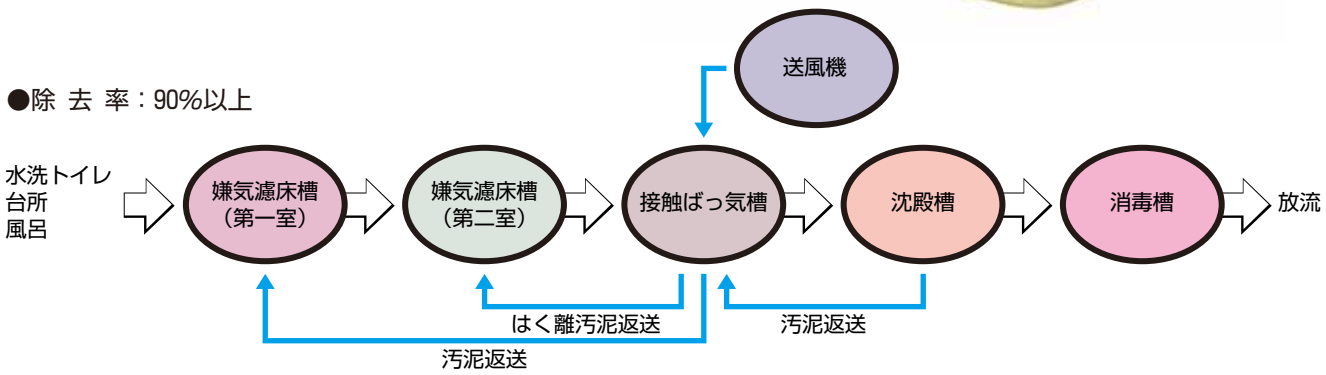
○超浅型により施工の低コストを実現。
○すっきりした設計、高度な浄化能力を追求しました。

放流水質

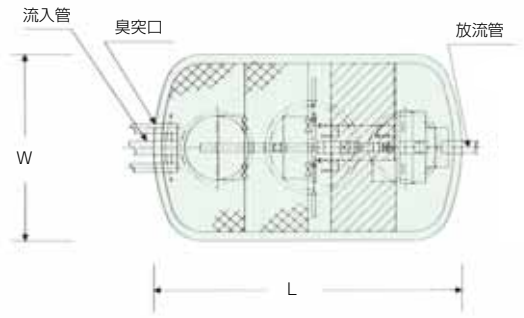
	（財）日本建築センター 性能評価値	全浄協登録値
BOD	20 mg／ℓ 以下	20 mg／ℓ 以下

※全浄協＝全国合併処理浄化槽設置推進市町村協議会の略称

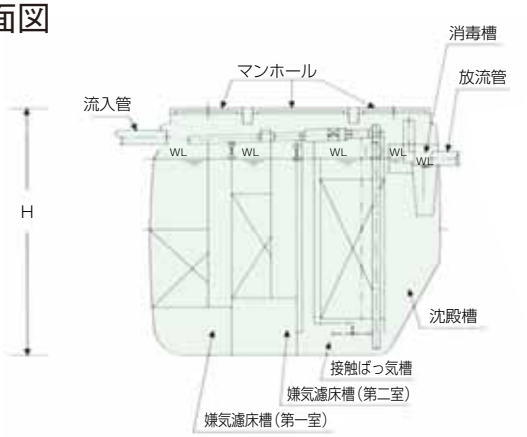
●除 去 率：90%以上



■平面図



■断面図



名　称	認定番号	認定年月日	型式適合認定番号	認定年月日
ダイエー FCKⅢ 5	5-13K-1E-001	平成25年10月１日	型01Cafba0053782	平成21年4月10日
ダイエー FCKⅢ 7	5-13K-1E-001-1		型01Cafba0073783	
ダイエー FCKⅢ10	5-13K-1E-001-2		型01Cafba0103784	

■各部寸法表（mm）

名称・記号 ＼ 人槽	5	7	10
全　巾（W）	1320	1570	1770
全　長（L）	2210	2620	3330
全　高（H）	1750	1750	1750
流　入　管　底	250	250	250
放　流　管　底	400	400	400
流入・放流管径	φ100	φ100	φ100

■各槽容量表（㎥）　本体重量（kg）

嫌気濾床槽（第一室）	0.812	1.247	2.116
嫌気濾床槽（第二室）	0.730	1.069	1.404
接　触　ば　っ　気　槽	1.004	1.406	2.006
沈　殿　槽	0.390	0.516	0.716
消　毒　槽	0.015	0.015	0.021
総　容　量	2.951	4.253	6.263
本　体　重　量	212kg	263kg	366kg
定価（円）	650,000	850,000	1,370,000

■仕　様

		AP-60	AP-80	LP-100HDES2
送風機	型式（参考）	AP-60	AP-80	LP-100HDES2
	出力（kw）	0.035	0.051	0.101
	風量（L/分）	60	80	110/109
マンホール	開口部φ450	2	—	—
	開口部φ600	1	3	3

●寸法等は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

＊認定書、型式適合認定書、型式適合認定シート、施工要領書、維持管理要領書はホームページからの取得も可能です。

高度処理型浄化槽

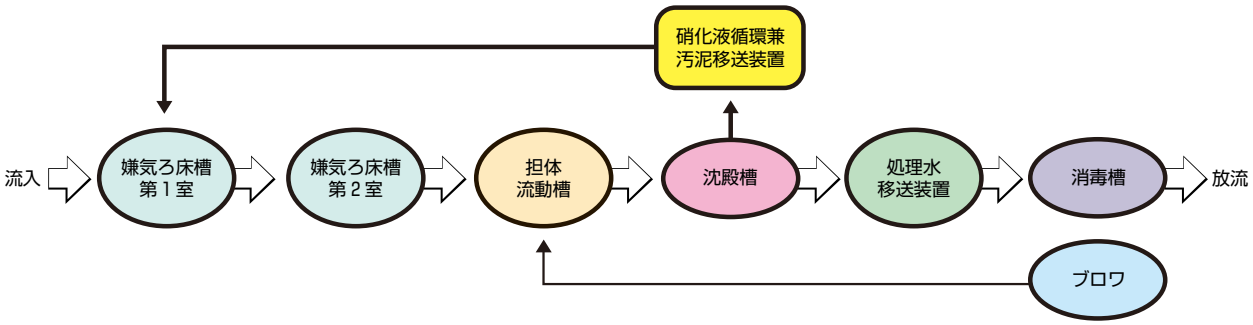
低炭素社会対応型（省エネ型）
全浄協登録浄化槽

ダイエーFDR5.7.10型 嫌気ろ床担体流動循環方式

特長

- ○ クラス最小ボディで全高1,550mm。
- ○ 掘削土量32%減で施工性アップ。
  （5人槽：当社従来品比）
- ○ 新開発の大型担体※1の採用で、トリプル10を実現。
- ○ 支柱レス仕様。※2 一口ブロワで簡単施工。
- ○ 浄化槽省エネ基準に準拠した低出力ブロワでランニングコストが安価。
- ○ ブロワはタイマ無し。バルブ2個のみで設定が簡単。
- ○ シンプルかつオーソドックスな処理方式の採用で、メンテナンスも容易。

※1 現在、特許取得準備中
※2 総重量2t以下の駐車場および積雪1m以下の地域に限る

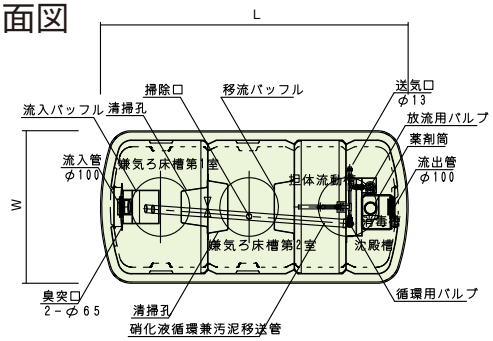


放流水質

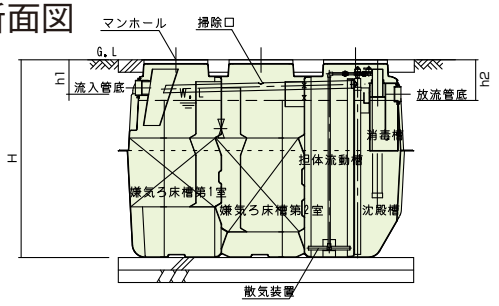
項目	(財)日本建築センター 性能評価値	国土交通大臣 認定値	全浄協登録値
BOD	10 mg／ℓ	10 mg／ℓ	10 mg／ℓ
T−N	10 mg／ℓ	10 mg／ℓ	10 mg／ℓ
SS	10 mg／ℓ	10 mg／ℓ	−
COD	20 mg／ℓ	20 mg／ℓ	−

名　称	認定番号	認定年月日	型式適合認定番号	認定年月日
ダイエー FDR5	5-12-H-005	平成24年	型01CadOa0054176	平成24年
ダイエー FDR7	5-12-H-005-1	3月5日	型01CadOa0074177	1月13日
ダイエー FDR10	5-13-H-005(12)-3	平成25年2月22日	型01CadOa0104246	平成25年1月11日

■平面図



■断面図



■各部寸法表(mm)

名称・記号 ＼ 人槽	5	7	10
全　巾(W)	1,140		1,700
全　長(L)	2,330	3,090	2,800
全　高(H)　※1	1,550(1,580)		1,860(1,890)
流入管底 h1　※1	250(280)		300(330)
放流管底 h2　※1	300(330)		400(430)
流入・放流管径	φ100		

■各槽容量表(㎥)　本体重量(kg)

嫌気ろ床槽第１室	0.775	1.070	1.635
嫌気ろ床槽第２室	0.739	1.049	1.519
担体流動槽	0.457	0.627	0.936
沈殿槽	0.352	0.420	0.729
消毒槽	0.023		
総容量	2.346	3.189	4.842
本体重量　※2	230	290	560
定価(円)	800,000	1,080,000	1,580,000

■仕　様

	型式	AP-60	AP-80	LP-100H(S)
送風機	消費電力(W)	35	51	101
	風量(L／分)	60	80	110／109
マンホール	開口部φ450	3	3	1
	開口部φ600	−	1	2

※1：（　）内はマンホール上端からの距離
※2：本体重量は担体・マンホールを含んだ総重量を示します。

＊認定書、型式適合認定書、型式適合認定シート、施工要領書、維持管理要領書はホームページからの取得も可能です。

高度処理浄化槽

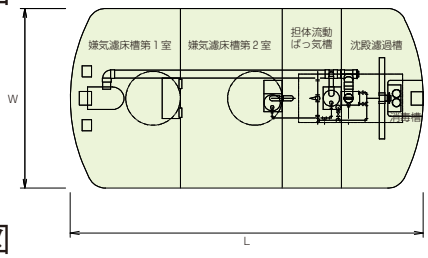
ダイエーFDN14Ⅳ~50Ⅳ 流量調整に嫌気濾床、担体流動ばっ気及び沈殿濾過を組み合わせた方式

特長

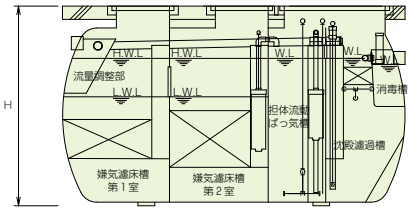
①優れた流量調整機構
②大きな流量調整部
③高いBOD除去と高い硝化性能
④高いSS除去性能
⑤安定した窒素除去性能
⑥簡便な移送・循環水量調整

名　称	認定番号	認定年月日	型式適合認定番号	認定年月日
ダイエー FDN14Ⅳ	5-14K-H-001	平成26年10月１日	型01CadOa0143855	平成21年6月12日
ダイエー FDN18Ⅳ	5-14K-H-001-1		型01CadOa0183856	
ダイエー FDN21Ⅳ	5-14K-H-001-2		型01CadOa0213857	
ダイエー FDN25Ⅳ	5-14K-H-001-3		型01CadOa0253858	
ダイエー FDN28Ⅳ	5-14K-H-001-4		型01CadOa0283859	
ダイエー FDN30Ⅳ	5-14K-H-002		型01CadOa0303860	
ダイエー FDN35Ⅳ	5-14K-H-002-1		型01CadOa0353861	
ダイエー FDN40Ⅳ	5-14K-H-002-2		型01CadOa0403862	
ダイエー FDN45Ⅳ	5-14K-H-002-3		型01CadOa0453863	
ダイエー FDN50Ⅳ	5-14K-H-002-4		型01CadOa0503864	

■平面図

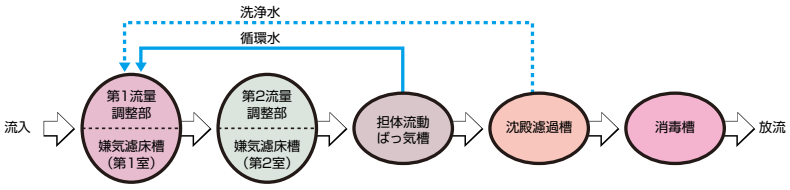


■断面図



放流水質

項目	(財)日本建築センター性能評価値	国土交通大臣認定値
BOD	10 mg／ℓ以下	20 mg／ℓ以下
T−N	10 mg／ℓ以下	20 mg／ℓ以下
SS	10 mg／ℓ以下	——



■各部寸法表(mm)

	14	18	21	25	28	30	35	40	45	50
全　巾(W)	2,000					2,500				
全　長(L)	3,880	4,300	4,700	5,200	5,700	4,400	4,850	5,300	5,750	6,300
全　高(H)	2,290					2,800				
流入管底	500					600				
放流管底	670					770				
流入・放流管径	φ125									

■各槽容量表(㎥)　本体重量(kg)

流量調整部	1.721	2.051	2.278	2.553	2.813	3.333	3.750	4.128	4.640	5.071
嫌気濾床槽(第一室)	2.604	3.180	3.541	3.901	4.310	4.748	5.339	5.893	6.594	7.185
嫌気濾床槽(第二室)	2.691	3.124	3.461	3.941	4.326	4.653	5.244	5.908	6.499	7.127
担体流動ばっ気槽	1.802	1.802	2.106	2.522	2.827	3.015	3.575	4.092	4.523	5.040
沈殿濾過槽	1.423	1.423	1.423	1.423	1.551	2.196	2.196	2.196	2.196	2.430
消毒槽	0.062	0.062	0.062	0.062	0.062	0.123	0.123	0.123	0.123	0.123
総容量	8.582	9.591	10.593	11.849	13.076	14.735	16.477	18.212	19.935	21.905
本体重量	1,100	1,300	1,400	1,500	1,700	1,500	1,700	1,800	2,000	2,200
定価(円)	4,000,000	4,750,000	4,920,000	5,380,000	5,890,000	6,100,000	6,810,000	7,250,000	7,740,000	8,030,000

●総容量には、流量調整部の容量は含まれていません。

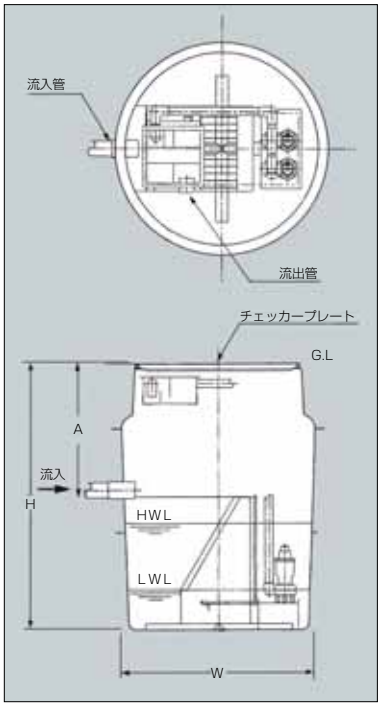
■仕　様

送風機	型式(ばっ気用)	LP-120H(S)	LP-150HN	LP-200HN	LP-200HN	LW-250	LW-250	LW-300(A/B)	LW-350(A/B)	HC-301S	HC-301S
	消費電力(W)	130/130	132/145	200/215	200/215	285/300	285/300	260/260	320/355	750/750	750/750
	型式(逆洗用)	AP-60	AP-60	AP-60	AP-60	AP-60	LP-100H(S)	LP-100H(S)	LP-100H(S)	LP-100H(S)	LP-100H(S)
	消費電力(W)	35/35	35/35	35/35	35/35	35/35	105/105	105/105	105/105	105/105	105/105
	型式(移送循環用)	AP-30	AP-30	AP-40	AP-40	AP-60	AP-60	AP-60	AP-60	AP-80	AP-80
	消費電力(W)	25/25	25/25	32/32	32/32	35/35	35/35	35/35	35/35	51/51	51/51
	操作盤	AC100V　50／60Hz　パワーカット、タイマ付き									
マンホール	φ600	2	3	3	3	3	1	2	2	2	2
角蓋	1145×540	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1
	1400×850	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1

●寸法等は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

オプション

原水ポンプ槽 5～50人槽用



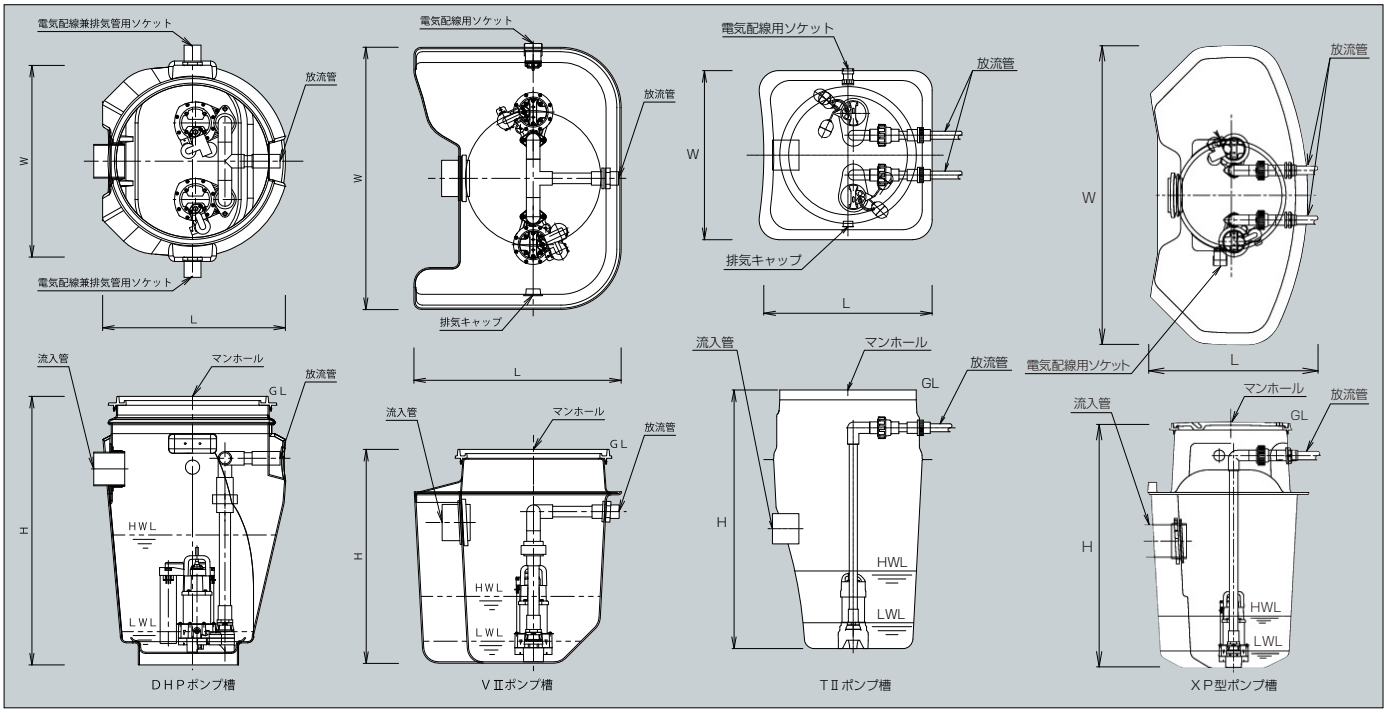
流入管底が深い場合や、設置場所の状況などで原水ポンプ槽を設置する場所があります。また槽内には、爽雑物を取る為のスクリーンや、沈殿物の腐敗を防ぐ為に散気装置を設けています。

流入水に油分が多量に含まれる場合は、油水分離槽を浄化槽の前に設置して下さい。

人槽	W(㎜)	H(㎜)	A(㎜)	重量(参考)
5～50	φ1450	2070～2370	720～1370	210kg
12～50	φ2100	2770～3070	900～1650	465kg
	φ2500	2770～3070	900～1650	625kg

※重量はポンプ、蓋は含みません。

放流ポンプ槽



放流先の水路や排水溝が高く、逆勾配などで自然放流ができない場合に放流ポンプ槽を設けます。

人槽	型式	寸法			有効容量(㎥)	重量(参考)
		W	H	L		
FCE5、7	DHP	650	911	620	0.040	25kg
FCE10	VⅡ-8	890	726	703	0.051	35kg
FDR5、7	VⅡ-9	890	726	703	0.051	35kg
FCKⅢ5～10	VⅡ-2	890	803	704	0.051	22kg
FCX12～50C	XP	1328	1059	698	0.074	30kg
FCX33～50T	TⅡ	850	1300	850	0.099	38kg

※重量はポンプ、蓋は含みません。

※寸法等は予告なく変更することがありますので御了承下さい。
他にも品揃えしておりますので、弊社係員までお尋ね下さい。

付属部品

送風機

電磁式

ロータリー式

ポンプ

軽重量で、用途能力に応じて
各種取り揃えています。

フロートスイッチ

電磁弁

コンパクトで高性能。
いろいろな口径に対応致します。

配電盤

鋼板製の他にステンレス製・プラス
チック製にも対応致します。

浮上防止金具(ワイヤー・フラットバー)

鉄製・ステンレス製共取り揃えています。
地下水位により数量及びワイヤー、
フラットバーを選択致します。

PP製マンホール蓋

●250K の表示のものは車等の乗るところでは使用しないでください。
●500K の表示のものについては乗用車(2000c.c.以下)の対応品であり、2000c.c.を越える車の乗る可能性のあるところでは使用しないでください。
●蓋の通常設置の場合はロックを必ず閉の状態になるようにしてください。
●ロックの破損・脱落が生じる事がありますので蓋の取扱いに注意してください。
ロックの変形・破損・脱落等が生じた場合は速やかに交換してください。

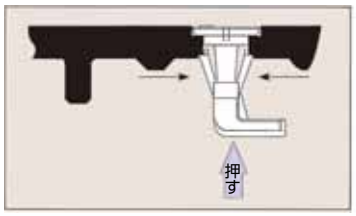
ロックの機構説明図

●ロック上部の⇧マークを開に合わせるとロック下部が開の位置になり蓋が取り外せます、閉に合わせますとロック下部が閉の位置になり蓋が開けられなくなります。

ロックの取付け方法

※マンホールカバーの穴に、ロックを図のように差し込み強く押し込むとはまります。

ロックの取りはずし方法



※プライヤー等によりロックアンカー部を内側から矢印の方向にはさみ込み、指で、上方に押し上げればはずれます。

マンホール・チェッカープレート

鋳鉄製マンホール

BMC製マンホール

6トン用が標準品。
それ以上は20トン用(鋳鉄製)を揃えています。

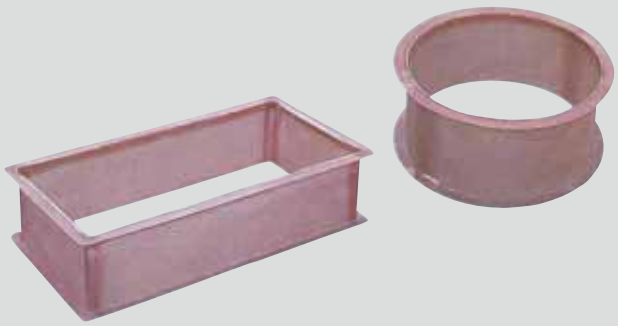
マンホールかさ上げ

マンホール枠

鋳鉄製角蓋

6トン用が標準品。
それ以上は20トン用を揃えています。

かさ上げ　マンホール・チェッカープレート



取扱いされます方へ

警告表示

本書で使用しているマークには、以下のような意味があります。	
⚠ 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定されます。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。
留 意	特に守っていただきたい留意事項です。

⚠警告 …1）消毒剤による発火、爆発、有害ガス事故防止

①消毒剤は強力な酸化剤です。
消毒剤には、有機系の塩素剤と無機系の塩素剤の２種類があります。
これらを一緒に薬剤受け（薬筒）に入れないでください。
留意：有機（イソシアヌル酸）系の塩素剤には、品名：ハイライト、ポンシロール、
メルサン、マスター、ペースリッチ、などがある。
無機系の塩素剤には、商品名：ハイクロン、トヨクロン、南海クリヤーなどがある。

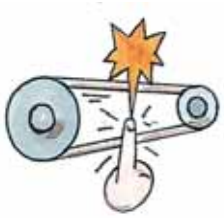
②消毒剤の取扱に際しては、目・鼻・皮膚を保護するため、ゴム手袋、防塵マスク、保護メガネなどの保護具を必ず着用してください。
③消毒剤を廃棄する場合は、販売店などにお問い合わせください。
発熱・火災の危険がありますので、消毒剤はごみ箱やごみ捨て場に絶対に捨てないでください。
留意：消毒剤の取扱上の詳細な注意事項は、現品の包装材に記載されていますので、お読みください。
これらの注意を怠ると、発火・爆発・有害ガスの生じるおそれがあり、またこれらにより傷害を生ずるおそれがあります。

⚠警告 …２）作業中の酸欠などの事故防止

槽内に入る場合は、必ず酸素濃度・硫化水素濃度を測定し、その安全を確かめてください。また、槽内で作業をするときは必ず強制換気をおこなうこと。
このような注意を怠ると、人身事故（死亡事故）の発生するおそれがあります。

⚠警告 …３）感電・発火、巻き込まれ事故防止

①送風機・制御盤の近く（50cm 以内）には、ものを置かないでください。
②電源コードの上には、ものを置かないでください。
③電源プラグは、ほこりが付着しやすいので、１年に１回以上は清掃してください。
この注意を怠ると、感電・発火の生ずるおそれがあります。
④送風機の点検後、はずしたカバーは必ず取り付けてください。
カバーを取り付けないと、巻き込まれ事故のおそれがあります。



⚠警告 …４）マンホール・点検口などからの転落・傷害事故防止

①作業終了後、マンホール・点検口の蓋は、必ず閉めてください。また、ロック機構のあるものは、必ずロックしてください。
②マンホール・点検口などの蓋のひび割れ・破損など異常を発見したら、直ちに取り替えてください。
これらの注意を怠ると、転落・傷害の生ずるおそれがあります。

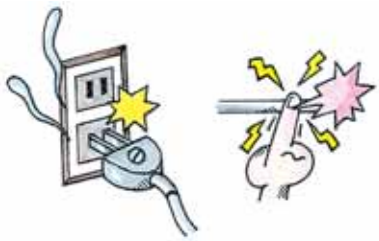
⚠注意 …５）傷害事故防止

槽の吊り上げ・据え付けは、玉掛け作業でおこなうこと。
槽の下には立ち入らないこと。
これらの注意を怠ると、傷害事故の生ずるおそれがあります。

⚠注意 …６）転落事故防止

据え付け後の水はり、浮上防止金具の取り付け作業は足場板などで養生しておこなうこと。
埋設工事に際して、穴を掘った周囲には、防護柵をつくり関係者以外立ち入らないようにしてください。
これらの注意を怠ると、転落事故（傷害）の生ずるおそれがあります。

⚠注意 …７）感電・発火



①送風機・ポンプ・制御盤などで接地工事（アース）が必要な電気機器は、必ず接地工事をしてください。
②送風機の電源にコンセントを使用する場合は、ＪＩＳ防雨形コンセントをご使用ください。
③送風機・ポンプ・制御盤などの電気機器の工事は、電気工事に係る資格の有る専門業者に依頼してください。
この注意を怠ると、感電・発火の生ずるおそれがあります。

⚠注意 …８）荷重による器物破損・傷害事故防止

通常の埋設工事をおこなった浄化槽の上には、車などの重量物を乗せないでください。車などが乗る場合には、特殊工事（①マンホール蓋は、安全荷重を考慮して選定する。②支柱などを補強する。）が必要になりますので、専門の工事業者にご相談ください。
これらの注意を怠ると、器物破損・傷害の生ずるおそれがあります。

留意① **浄化槽を設置するに際して**

都道府県に登録されている専門の（浄化槽設備士の資格をもつ）工事業者とつぎのような事項について打ち合わせてください。

＊浄化槽の機種の選定、処理対象人員（処理水量）、放流先及び放流水質の規制値、
＊設置場所、特殊工事の有無、
＊設置届けなど

注意 **（1）特殊工事を必要とする場合**

＊設置場所を、車庫・駐車場などに使用する場合
＊設置場所が、断崖・川べり、交通量の多い道路ばた、軟弱地盤、多雪地帯、近隣の建造物の荷重が影響する場所など
＊地下水がでる場所

（2）浄化槽工事着手の制限について

＊型浄化槽は設置届けが受理された日から 10 日間経過した後、工事に着手してください。（この期間は、受理当日の初日は計算しない）
（水質汚濁防止法の特定施設となるものは工事着手 60 日前までに申請する）

留意② 浄化槽設置工事は、都道府県に登録されている専門の（浄化槽設備士の資格をもつ）工事業者に依頼してください。

留意③ 浄化槽の維持管理は、都道府県に登録されている「保守点検業者」と契約してください。（保守点検は、浄化槽管理士の資格をもった人が行わなければなりません）…合併の場合（有料）回数５～20 人４ヶ月／１回、21 ～ 50 人３ヶ月／１回

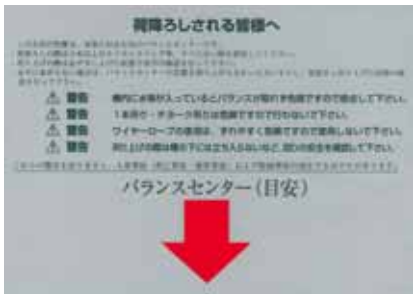
浄化槽の汚泥引き抜きなどの清掃は、市町村長の許可を受けた浄化槽清掃業者に依頼してください。…（有料）回数１年／１回以上

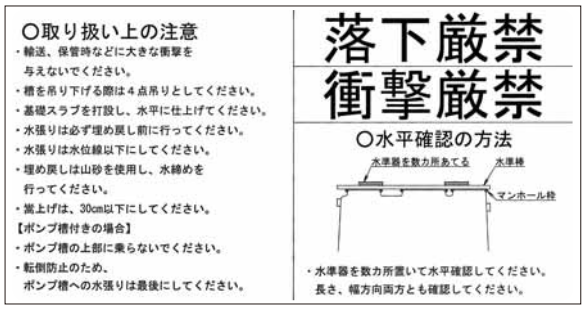
留意④ 浄化槽に入れる消毒剤は、浄化槽を使用開始するまでは開封しないで下さい。これを守らないと、消毒剤から塩素ガスが発生し空気中の水分と反応し、塩酸を生じ、このために金属類を腐食するおそれがあります。

※「取扱説明書」、「施工要領書」、「維持管理要領書」の必要な方は弊社窓口までご連絡ください。ただちにお送りいたします。

本書商品の表示されるラベル

外部側面表示





内部表示

薬筒表示

操作手順(バルブの設定)例

バルブ表示

散気管　逆洗管　返送管
エアリフト　空気逃し

操作手順(バルブの設定)FCE 用

人槽＼設定項目	移送用(灰)		循環装置(白)		散気用(青)
	バルブ設定	吐出回数(回/分)	バルブ設定	循環水量(L/分)	バルブ設定
5人	人槽表示に合わせてください	2	マーキング範囲内	1.0～1.7	マーキング範囲内
7人		3		1.5～2.4	
10人		4		2.1～3.5	

注：バルブ設定は、ばっ気状況や移送装置の水量に応じて調整してください。
間欠定量装置の吐出回数はL.W.L.＋50mm～H.W.L.での目安です。

型式表示（FCE 用）

(FCX30C)

ダイエー浄化槽　FCX30C型
浄化槽法に基づく型式認定浄化槽
認定番号　5-09-H-008-9　認定年月日　平成21年　9月18日
大栄産業株式会社

処理方式	分離嫌気ろ床担体流動方式		
処理対象人員	30人	日平均汚水量	6.0m³/日
放流BOD	20mg/L 以下	放流COD	30mg/L 以下
放流SS	20mg/L 以下	放流TN	20mg/L 以下

建築基準法に基づく型式適合認定番号　型01CadOa0303752
認定年月日　平成21年　8月　7日
製造番号　工場名

認　定　品

人槽の算定基準・早見表

●建築用途別処理対象人員算定基準表(JIS-A-3302・2000)

類似用途別番号	建築用途				処理対象人員(n) 算定式	処理対象人員(n) 算定単位		5	7	10	14	18	21	28	30	33	35	38	40	43	45	48	50
1	集会場施設関係	イ	公会堂・集会場・劇場 映画館・演芸場		n＝0.08A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	A	62	87	125	175	225	262	350	375	412	437	475	500	537	562	600	625
		ロ	競輪場・競馬場・競艇場		n＝16C	n：人員(人) C[1]：総便器数(個)	C	—	—	—	—	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3
		ハ	観覧場・体育館		n＝0.065A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	A	76	107	153	215	276	323	430	461	507	538	584	615	661	692	738	769
2	住宅施設関係	イ	住宅	A≦130(²)の場合	n＝5	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	A	130以下	130超	2世帯住宅	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				130(²)＜Aの場合	n＝7																		
		ロ	共同住宅		n＝0.05A	n：人員(人) ただし、1戸あたりのnが3.5人以下の場合には、1戸あたりのnを3.5人又は2人(1戸が1居室²だけで構成されている場合に限る)とする。 A：延べ面積(m²)	戸	1	2	2	4	5	6	8	8	9	10	10	11	12	12	13	14
							A	100	140	200	280	360	420	560	600	660	700	760	800	860	900	960	1000
		ハ	下宿・寄宿舎		n＝0.07A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	A	71	100	142	200	257	300	400	428	471	500	542	571	614	642	685	714
		ニ	学校寄宿舎 自衛隊キャンプ宿舎 老人ホーム・養護施設		n＝P	n：人員(人) P：定員(人)	P	5	7	10	14	18	21	28	30	33	35	38	40	43	45	48	50
3	宿泊施設関係	イ	ホテル 旅館	結婚式場又は宴会を有する場合	n＝0.15A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	A	33	46	66	93	120	140	186	200	220	233	253	266	286	300	320	333
				結婚式場又は宴会場を有しない場合	n＝0.075A			66	93	133	186	240	280	373	400	440	466	506	533	573	600	640	666
		ロ	モーテル		n＝5R	n：人員(人) R：客室数	R	1	1	2	2	3	4	5	6	6	7	7	8	8	9	9	10
		ハ	簡易宿泊所・合宿所 ユースホテル・青年の家		n＝P	n：人員(人) P：定員(人)	P	5	7	10	14	18	21	28	30	33	35	38	40	43	45	48	50
4	医療設備関係	イ	病院 養護所	業務用の厨房設備又は洗濯設備を設ける場合 300床未満の場合	n＝8B	n：人員(人) B：ベッド数(床)	B	—	—	1	1	2	2	3	3	4	4	4	5	5	5	6	6
				300床以上の場合	n＝11.43(B－300)＋2,400			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			伝染病院	業務用の厨房設備又は洗濯設備を設けない場合 300床未満の場合	n＝5B			1	1	2	2	3	4	5	6	6	7	7	8	8	9	9	10
				300床以上の場合	n＝7.14(B－300)＋1,500			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		ロ	診療所・医院		n＝0.19A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	A	26	36	52	73	94	110	147	157	173	184	200	210	226	236	252	263
5	店舗関係	イ	店舗・マーケット		n＝0.075A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	A	66	93	133	186	240	280	373	400	440	466	506	533	573	600	640	666
		ロ	百貨店		n＝0.15A			33	46	66	93	120	140	186	200	220	233	253	266	286	300	320	333
		ハ	飲食店	一般の場合	n＝0.72A			6	9	13	19	25	29	38	41	45	48	52	55	59	62	66	69
				汚濁負荷の高い場合	n＝2.94A			1	2	3	4	6	7	9	10	11	11	12	13	14	15	16	17
				汚濁負荷の低い場合	n＝0.55A			9	12	18	25	32	38	50	54	60	63	69	72	78	81	87	90
		ニ	喫茶店		n＝0.80A			6	8	12	17	22	26	35	37	41	43	47	50	53	56	60	62
6	娯楽施設関係	イ	玉突場・卓球場		n＝0.075A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	A	66	93	133	186	240	280	373	400	440	466	506	533	573	600	640	666
		ロ	パチンコ店		n＝0.11A			45	63	90	127	163	190	254	272	300	318	345	363	390	409	436	454
		ハ	囲碁クラブ マージャンクラブ		n＝0.15A			33	46	66	93	120	140	186	200	220	233	253	266	286	300	320	333
		ニ	ディスコ		n＝0.50A			10	14	20	28	36	42	56	60	66	70	76	80	86	90	96	100
		ホ	ゴルフ練習場		n＝0.25S	n：人員(人) S：打席数(席)	S	20	28	40	56	72	84	112	120	132	140	152	160	172	180	192	200
		ヘ	ボーリング場		n＝2.50L	n：人員(人) L：レーン数(レーン)	L	2	2	4	5	7	8	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		ト	バッティング場		n＝0.20S	n：人員(人) S：打席数(席)	S	25	35	50	70	90	105	140	150	165	175	190	200	215	225	240	250
		チ	テニス場	ナイター設備を設ける場合	n＝3S	n：人員(人) S：コート面数(面)	S	1	2	3	4	6	7	9	10	11	11	12	13	14	15	16	16
				ナイター設備を設けない場合	n＝2S			2	3	5	7	9	10	14	15	16	17	19	20	21	22	24	25
		リ	遊園地・海水浴場		n＝16C	n：人員(人) C：総便器数(個)	C	—	—	—	—	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3
		ヌ	プール・スケート場		$n=\frac{20C+120U}{8}\times t$	n：人員(人) C：大便器数(個) u：小便器数(個) t：単位便器当たり一日平均使用時間(時間) t=1.0～2.0																			
		ル	キャンプ場		n＝0.56P	n：人員(人) P：収容人員(人)	P	8	12	17	25	32	37	50	53	58	62	67	71	76	80	85	89
		ヲ	ゴルフ場		n＝21H	n：人員(人) H：ホール数(ホール)	H	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2
7	駐車場関係	イ	サービスエリア	便所 一般部	n＝3.60P	n：人員(人) P：駐車ます数(ます)		—															
				便所 観光部	n＝3.83P																		
				便所 売店なしPA	n＝2.55P																		
				売店 一般部	n＝2.66P																		
				売店 観光部	n＝2.81P																		
		ロ	駐車場・自動車車庫		$n=\frac{20C+120U}{8}\times t$	n：人員(人) C：大便器数(個) u：小便器数(個) t：単位便器当たり一日平均使用時間(時間) t=0.4～2.0																			
		ハ	ガソリンスタンド		n＝20	n＝人員(人)1営業所当たり		—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
8	学校施設関係	イ	保育所・幼稚園 小学校・中学校		n＝0.20P	n：人員(人) P：定員(人)	P	25	35	50	70	90	105	140	150	165	175	190	200	215	225	240	250
		ロ	高等学校・大学・各種学校		n＝0.25P			20	28	40	56	72	84	112	120	132	140	152	160	172	180	192	200
		ハ	図書館		n＝0.08A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	A	62	87	125	175	225	262	350	375	412	437	475	500	537	562	600	625
9	事務所関係	イ	事務所	①業務用厨房設備を設ける場合	n＝0.075A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	A	66	93	133	186	240	280	373	400	440	466	506	533	573	600	640	666
				②業務用厨房設備を設けない場合	n＝0.06A			83	116	166	233	300	350	466	500	550	583	633	666	716	750	800	833
10	作業所関係	イ	工場 作業所 研究所 試験場	①業務用厨房設備を設ける場合	n＝0.75P	n：人員(人) P：定員(人)	P	6	9	13	18	24	28	37	40	44	46	50	53	57	60	64	66
				②業務用厨房設備を設けない場合	n＝0.30P			16	23	33	46	60	70	93	100	110	116	126	133	143	150	160	166
11	1～10の用途に属さない施設	イ	市場		n＝0.02A	n：人員(人) A：延べ面積(m²)	A	250	350	500	700	900	1050	1400	1500	1650	1750	1900	2000	2150	2250	2400	2500
		ロ	公衆浴場		n＝0.17A			29	41	58	82	105	123	164	176	194	205	223	235	252	264	282	294
		ハ	公衆便所		n＝16C	n：人員(人) C[1]：総便器数(個)	C	—	—	—	—	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3
		ニ	バスターミナル駅	P＜100,000の場合	n＝0.008P	n：人員(人) P：乗客数(人／日)	P	625	875	1250	1750	2250	2625	3500	3750	4125	4375	4750	5000	5375	5625	6000	6250
				100,000≦P＜200,000の場合	n＝0.010P			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				200,000≦Pの場合	n＝0.013P			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)(1)二世帯住宅等の取り扱いについて
浴室及び台所が2つあり、実際もほぼ互いに独立した生活が送られている住宅(いわゆる二世帯住宅)から排出される汚物を一つの屎尿浄化槽で処理する場合、それぞれの生活単位に応じた延べ面積に相当する処理対象人員を合計した数値とします。ただし、住宅の処理対象人員は10人を上限としており、10人を超えた場合にあっても処理対象人員は10人とする。

(2)大便器数、小便器数及び両用便器数を合計した便器数。

(3)居室とは、建築基準法による用語の定義でいう居室であって、居住執務、作業、集会、娯楽その他これらに類する目的のために継続的に使用する室をいう。ただし、共同住宅における台所および食事室を除く。

(4)女子専用便所にあっては、便器数のおおむね1／2を小便器とみなす。

(5)用途、雑居ビル等で人槽と汚水量が合致しない場合がありますので、ご注意ください。

(6)浄化槽の機種および選定基準などについては、地区により行政指導内容が異なる場合がありますので、十分にご注意ください。

DAIE 大栄産業株式会社

本社
〒 470-2403 愛知県知多郡美浜町大字北方字西側 85-1
☎ 0569-82-0338 FAX0569-82-2114

北海道営業所
〒 065-0022 札幌市東区北22 条東3丁目1-35 ハイテクビル･さっぽろ
☎ 011-748-3200 FAX011-748-3221

盛岡営業所
〒 020-0834 岩手県盛岡市永井 17 地割 28-3 KSすずらん
☎ 019-632-7117 FAX019-632-7118

福島出張所
〒 963-8045 福島県郡山市新屋敷二丁目81番地 郡山西ハートフルタウンC-201
☎ 024-983-1527 FAX024-983-1528

仙台営業所
〒 983-0038 宮城県仙台市宮城野区新田 1-3-52
☎ 022-239-9001 FAX022-239-9002

埼玉営業所
〒 346-0014 埼玉県久喜市吉羽 2 丁目 6-9 宇津城ビル 3F
☎ 0480-21-8231 FAX0480-21-8337

東京支店
〒 105-0004 東京都港区新橋 5 丁目 25-2 TY ビル 3F
☎ 03-5401-2151 FAX03-5401-2152

千葉出張所
〒 299-3217 千葉県大網白里市木崎 1-23
☎ 0475-70-8131 FAX0475-70-8132

静岡営業所
〒 417-0801 静岡県富士市大渕 2651-1
☎ 0545-35-5783 FAX0545-35-5784

豊橋出張所
〒 441-8122 愛知県豊橋市天伯町六ツ美 77-1
☎ 0532-48-8029 FAX0532-37-7372

大阪営業所
〒 569-0034 大阪府高槻市大塚町 1 丁目 15-7 サニーコーポ西口 3F-C 号
☎ 072-673-3202 FAX072-673-9240

岡山出張所
〒 710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾 144-1 サンライズビレッジ 103
☎ 086-441-7056 FAX086-441-7057

広島営業所
〒 733-0003 広島県広島市西区三篠町 3 丁目 2-2 A1 ビル 1F
☎ 082-237-8311 FAX082-237-8312

福岡営業所
〒 814-0153 福岡県福岡市城南区樋井川 3-19-1
☎ 092-552-4904 FAX092-511-8122

大分出張所
〒 879-7152 大分県豊後大野市三重町百枝 1247-1
☎ 0974-22-8218 FAX0974-22-8489

鹿児島出張所
〒 891-0113 鹿児島県鹿児島市東谷山 1 丁目 5 番10号
☎ 099-266-2322 FAX099-266-2322

ISO14001認証取得／ISO9001認証取得

この製品カタログは、再生紙を使用しております。

維持管理ご相談下さい！

浄化槽には維持管理が法律により義務付けられています。
ダイエーは維持管理を信頼のネットワークでご提供いたします。
お気軽に最寄の左記営業所へお問い合わせください。

URL http://www.daie-industry.co.jp
E-mail honsya@daie-industry.co.jp

商品やサービスに対するご意見、ご要望をお聞かせください。
「取扱説明書」「施工要領書」「維持管理要領書」の必要な方は
弊社窓口までご連絡ください。

■取扱店

’15.5.